

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +90°C (90%RH MAX)	保存温度範囲	-40 °C ~ +90 °C(90%RH MAX)			
	電 力	— W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ Δ 8 GHz)			
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—			
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。				—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。		中心コネクタ	14 mΩ以下	○	○
				外部コネクタ	14 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。		500 MΩ以上		○	○
	耐 電 圧	AC200Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○
	電 圧 定 在 波 比	Δ	周波数 0.045 ~ 6 GHzにて測定する。		V SWR	1.3 以下	○
周波数 6 ~ 8 GHzにて測定する。			V SWR	1.4 以下			
	挿 入 損 失	周波数 — ~ — GHzにて測定する。		— dB以下		—	—
機 械 的 性 能	コネクタゲージのゲージ保持力	φ0.9525 ^{+0.0025} ₀ のオハシゲージを3回嵌合後、下記ゲージを使用して測定する。 挿入力ゲージ : φ0.9398 ^{+0.0025} ₀ 引抜き力ゲージ : φ0.9017 _{-0.0025}		挿入力	8.9 N以下	○	○
				引抜き力	0.3 N以上	○	○
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。		差込力	— N以下	—	—
				引抜き力	— N以下	—	—
	繰 り 返 し 動 作	500回の抜き差しを行う。(HRM側) 30回の抜き差しを行う。(U.FL側)		① 接触抵抗: 中心コネクタ 21 mΩ以下 外部コネクタ 21 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐 振 性	周波数 10 ~ 100 Hz, 片振幅 1.5 mm, 加速度 59 m/s ² で 3軸方向各 5 サイクル 試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 735 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。				○	—
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	— N以下の引張力をケーブル軸に加える。		① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。		—	—
環 境 的 性 能	耐 湿 性	温度 +40 °C, 湿度 95 %中に — サイクル(96 時間) 放置する。		① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	温 度 サ イ ク ル	温度 -40 → 5-35 → +90 → 5-35 °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。		破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。		はなはだしい腐食がないこと。		○	—
	Δ の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
Δ	2	DIS-D-00004891		NK. NINOMIYA	TS. NOBE	20200428	
備考				承認	IJ. MITANI	20051004	
				検 図	KY. SHIMIZU	20051003	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				担 当	MA. SAEKI	20051003	
				製 図	MA. SAEKI	20051003	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番	SLC4-310814-00		
HRS	製品規格表			製品名	HRMJ-U.FLJ-PC		
	ヒロセ電機株式会社			製品コード	CL311-0411-3-00	Δ	1/1